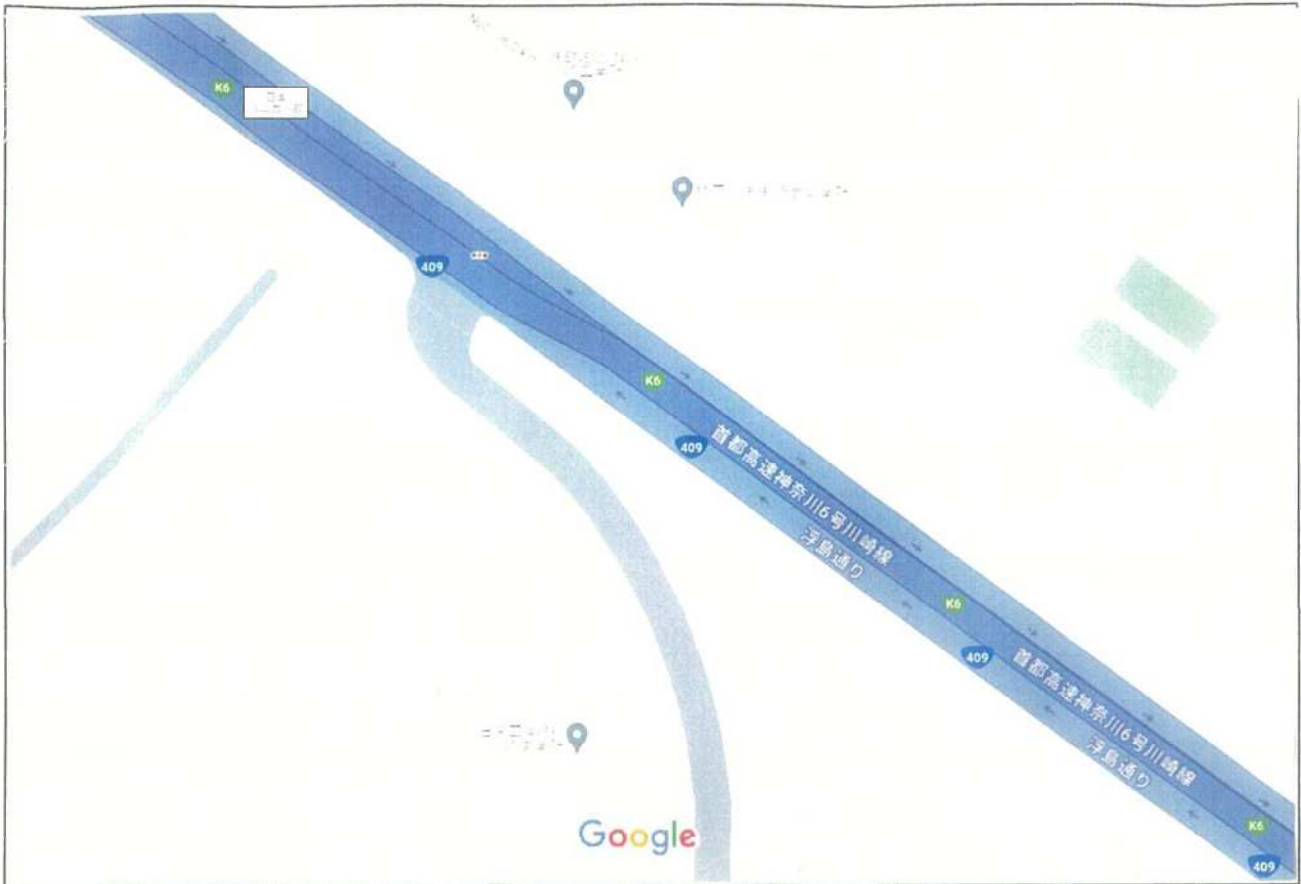


運輸労連神奈川県連 川崎地区連絡協議会 道路実態調査報告

日時： 2024年2月7日（水）10：00～

場所： 川崎市川崎区浮島町内交差点



参加者： 川崎地区連（阿部議長・中井副議長・小室事務局次長・小泉事務局次長・浅井事務局長）

議員（栄居神奈川県議会議員川崎区・織田川崎市議会議員宮前区）

川崎臨海警察署・国交省関東地方整備局横浜国道事務所・神奈川県産業労働局労働部・

川崎市建設緑政局・川崎区道路公園センター他

神奈川交運労協を通じて政策制度要求の中で、地域交通改善要求として提出した。

※川崎市に対して【地域交通改善要求】

○川崎市川崎区浮島町日本ユニカー前交差点：地図81

南方向から国道409号線へ入る際、踏切の直前に停止線があり、その位置に車両が止まってしまうと、国道409号線から右左折するトレーラーが進行できない。：改善要求 踏切前の停止線を下げられたい。

回答：市民文化局地域安全推進課

停止線の設置などの交通規制に関する権限につきましては、道路交通法第4条に基づき神奈川県警察で取り扱っておりますので、管轄する警察署へご相談ください。本市からも、いただきました要望を管轄の警察署へお伝えいたしました。

上記の要求も回答も不十分であり事実誤認の可能性もあるので、組織内議員織田市議にも協力をいただいて実際の道路事情を見分し、関係者にも事実確認をしてもらった。



警察の見解：当該箇所においての要望は複数回あったが、道路の構造上の問題があり信号機設置は難しい。安全確認をすれば交通の滞留も発生しないし、安全も確保される。法令による信号の設置基準を満たしておらず、交差点の構造を変更してもらう必要がある。

川崎地区連：普段の状況や、その場で現認する状態を説明し、信号機の設置や停止線の移動を提案したが、警察側は最後には道路管理者による対策が必要で警察側には限界があるとした。

川崎地区連：現状の危険性を各関係者が認識され



て何か対策を講じて欲しいことを要請した。

川崎市：道路舗装に工夫をしたり、注意喚起の看板の設置について検討するとした。

議員：いずれにせよ、危険個所であり過去に死亡事故もあり、関係各所ででき得る安全対策を検討実施して欲しい。

後で織田市議からは川崎市側の対応については問い合わせで地区連で報告するとの話があった。